

【スーパーエフロクリーン 施工要領】

1. 特 長

- ・セメント硬化物から発生する白華を除去します。（白華の状態により除去できない場合があります）
- ・白華と反応して白い泡を発生するため、泡の様子で除去作業が管理できます。
- ・不燃性の酸性液体です。

2. 用 途

洗浄物

白華、アク、錆、タイヤ痕、泥汚れ、水垢、カビ、コケ、油汚れ等。

洗浄対象

コンクリート・ブロック、コンクリート二次製品、インターロッキング、陶・磁器タイル、テラゾー、レンガ、塗膜。

※インターロッキング等着色された部材は、色が落ちる可能性があります。

3. 養 生

- 1) 植木等は枯れる恐れがあるため、十分な養生をしてください。
- 2) 大理石、御影石等は光沢を損ねることがありますので、十分な注意をしてください。
- 3) 金属部分に付着すると錆びる恐れがありますので、十分な養生をしてください。
- 4) 変色の恐れのある材質もありますので、事前に試し塗りを行ってください。

4. 工 程

工程	材 料 ・ 調 合	施 工 器 具	使用量	塗回数	間隔時間
材料塗り	スーパー エフロクリーン	ブラシ 刷 毛 モップ	0.1～0.3 ㎤/㎡ (除去仕上材による)	1 以上	2～3 分
洗浄	水	高圧水洗浄機 デッキブラシ	———	——	———

※上記の数値は全て標準のものです。1 回で除去できない場合は、再度繰返してください。

※室内等で水洗いができない場合は、モップで十分に水拭きしてください。

5. 工 法

1) 事前処理

白華が厚く形成されている場合は、予め皮スキ等で除去してください。

2) 材料塗り

水打ちしてから原液を、柄つきブラシ・刷毛等で白華した部分に擦りつけないようにして均一に塗布してください。すぐに泡状の反応が起こります。泡が消滅するまで待ってください。

3) 洗浄

全面をブラシ等でこすりながら水洗いしてください。

4) 乾 燥

自然乾燥させます。(ゴムレーキで強制的に洗いを排除したり、洗いをウエスで拭いたりした方が再白華発生の予防には効果的です)

一度の作業で除去できない場合は、この作業をくりかえします。

6. 注意事項

- 1) 新設のコンクリート・モルタルへの施工は避けて下さい。コンクリート・モルタル表層部が本剤により溶かれ、中の砂が露出することにより変色します。
- 2) 用途以外には使用しないでください。また他の材料と混ぜて使用しないでください。
特に塩素系材料と混ぜると塩素ガスを発生します。
- 3) 換気の良い状況下でご使用ください。悪い状態で施工した場合、健康被害を及ぼす可能性があります。
- 4) スーパーエフロクリーンは原則他の容器に移して使用しないでください。やむをえず移す場合は、ポリ容器に移してご使用ください。金属缶は腐食しますので絶対に使用しないでください。
- 5) 白華の層が厚い場合は、先にスクレーパーまたは皮すき等で除去したあとにスーパーエフロクリーンを塗布してください。
- 6) 壁や天井など顔より高い箇所に使用する場合は、スポンジにつけて塗るなど、飛散やダレのないように注意してください。
- 7) 使用の際には、ビニール製の保護手袋、保護眼鏡を着用してください。
一度容器からとり出した材料は、汚染防止のため絶対に元の容器に戻さないでください。
- 8) 使用後は手をよく洗い、荒れ性や多量に使用した場合には、クリーム等での手入れをおすすめします。
- 9) 液が直接皮膚や衣類に付着した場合は、すぐに水などで十分に洗浄してください。
- 10) 眼に入った場合は、直ちに流水で15分以上洗眼し、異常のある場合には医師に相談してください。
- 11) 誤って飲み込んだ場合は、大量の水、牛乳を飲ませて吐かせ、異常のある場合には医師に相談してください。
- 12) 誤飲を起こす恐れのある容器での保管は避けてください。
- 13) 材料の保管は、0℃以上 40℃以下の雨露のかからない場所で行ってください。
- 14) 材料の取扱いについては、製品に記載された注意事項をよく読んでからご使用ください。
その他詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 15) 金属製ブラシ、タワシは使用しないでください。
- 16) 壁面は下方から洗浄してください。上方から洗浄すると、ムラが残る場合があります。

7. 荷 姿

内容量	形態	施工面積 (㎡)
1 L	ポリ容器	3～10
5 L		16～50
20L		66～200

※施工面積は塗布する下地の素材、状況や白華量により変動します。